

平成26年度 自己評価表

専修学校 あすなろ予備校

* 評価はABCDで実施

- A: 十分達成(目標に対して100%)
- B: 概ね達成(目標に対して80%以上)
- C: まだ不十分(目標に対して50%以上80%未満)
- D: 方策の見直し(目標に対して50%未満)

中・長期目標 (学校ビジョン)	生徒の学力向上と進路実現を支え、地域や保護者からの信頼を獲得する。
--------------------	-----------------------------------

今年度の重点目標	1 学力を鍛え、進学実績の向上を果たす。
	2 志望にそった、より良い進路指導を探究する。
	3 地域や保護者に対して的確な情報を発信する。

年 度 当 初					評 価 結 果 5 月		
評価項目	現状認識	具体的目標	具体的な取り組み	評価基準	経過・達成状況	評価	改善方策
1 指導力の向上	○教員ごとに授業力の差がある	○学期ごとに授業アンケートを実施し、アンケート結果をもとに授業の工夫や改善を行う	○新人教員に対する授業指導 ○教科会の充実 ○アンケート結果にもとづく面談と査定の実施	○授業アンケートの評価項目「満足している」以上が全体の70%以上	授業アンケートで「満足している」以上の回答が、上半期で86.3%、下半期で90.6%、通年ではアンケート総数2821中2490の88.3%で、評価基準を大きく上回った。	A	評価基準の70%に達しなかった講師が、上半期で2名、下半期で1名おり、改善の必要がある。これらの講師に対しては、今後、管理職による授業視察および授業指導により、授業力の向上を図りたい。
2 進路の実現	○合格校のとりまとめは行っているが、合格校が第一志望であったか否かの確認は不十分	○第一志望合格者を最大化するための工夫や改善を行う	○担任による志望校の把握 ○履修相談による授業レベルと本人学力の最適化 ○個別面談時に志望校合格のための具体的勉強方法をアドバイス	○第一志望合格率が70%以上	昨年度は成績下位層から国公立大を目指す生徒が多数在籍した影響で、第1志望合格率は43.4%という不本意な結果となり、評価基準を達成できなかった。	C	現役時、300点台～400点台の生徒が生徒全体の半数を占める状態だったため、センター試験では100点以上伸ばしたが、国公立大には届かないというもどかしい現状があった。個別対応の充実を含め、合格点まで引き上げるべく、今後も努力していきたい。
3 保護者への情報発信	○教員ごとに面談力の差がある	○三者懇談時に保護者アンケートを実施し、保護者の意見を踏まえた面談の工夫や改善を行う	○面談時の配布物と伝えるべき項目を担当に徹底 ○アンケート結果にもとづく査定の実施	○保護者アンケートの評価項目「満足している」以上が全体の70%以上	保護者アンケートで、担任に「満足している」という項目において「よくあてはまる」と回答したものをのみを集計した結果、延べ329名の保護者のうち285名、86.6%となり、評価基準を大きく上回った。	A	担任を受け持っているのが常勤者のみということもあり、全体的に高い満足度を示す結果であった。しかし、後期で1名、評価基準を下回った担任が発生してしまい、担任変更で対応した。該当担任とは、校長が面談・指導済み。今後とも、保護者の信頼に応えるべく、努力していきたい。
4 地域への情報発信	○鳥取県の学力の現状や受験の仕組みの変更が、一般には知られていない。	○地元予備校として、受験に関する情報を地域に発信する機会をできるだけ設ける	○一般公開の進学セミナーを学年別実施 ○中学校・高等学校での進学講演の実施	○セミナーアンケートの評価項目「満足している」以上が全体の70%以上	昨年度は5回のセミナーを実施し、延べ152名分のアンケートを回収した。このうち「満足できる内容」だったとの回答が152件で100%。評価基準を大きく上回った。	A	セミナーの満足度が100%になったのは初めてである。全体説明と各教科からの具体的アドバイスという二部構成が支持されたものと思われる。今後も満足度を落とさないようにしながら、外部からの参加人数をさらに増やしていきたい。